

第1回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト

【 報 告 書 】



～ 2012 ～

岩見沢市



高校生プロジェクトに ご支援いただいた皆様へ

「第1回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト」

実行委員長 柳原美咲

(北海道岩見沢農業高等学校 3年)

岩見沢市内の高校生が中心となり、学校の枠を超えて協力した東北の復興支援をする「第1回 東北の物産販売高校生プロジェクト」が無事終了しました。

このような形で行われたのは、岩見沢では、ボランティア初の試みでした。岩見沢市内の高校3校のボランティア同好会・ボランティア部が協力したこのプロジェクトは、第1回ということもあり、すべてが手探り状態で、上手く進められない時もありました。最初に取り組んだ、支援金集めから商品の決定・仕入までの一連の作業に自分たちでこのプロジェクトを行うことの大変さを痛感しました。大変でしたが、それでも、各グループで協力して準備を進めて行きました。

そして販売を行ったボランティアフェスティバル本番当日は、たくさんの方々が足を止めて商品を見て下さったり、「東北の今」についての掲示物を見て下さったり、と私たちの活動に理解を示してくれました。その結果、多くの東北の商品を買っていただき、東北の復興のために売り上げを役立てることができました。

販売を通じて感じたことは、口コミで買いに来て下さったお客さんがいたことに驚きました。また、次々に売れていく商品や、買ってくれたお客さんの笑顔を見ていると、なんだか嬉しくなりました。このプロジェクトを行って良かったなと思いました。中でも、お客さんから「高校生がやっているの？ 頑張ってるね！」と言ってもらったのが印象に残っています。

さらに、「東北の今」という展示を通じて、東北の商品の生産者の方からのメッセージや復興活動に携わった岩見沢の方々の活動を紹介することで、このプロジェクトの趣旨である「東北の復興」についての現状を知ってもらう、考えてもらうことを行いました。今回、「東北の今」についてフェスティバル会場に来た方々に改めて考えてもらえたと思うので、このプロジェクトのもう一つの狙いである「東北を忘れない」というメッセージは伝わったと思います。

このプロジェクトが成功したのは、私たち、高校生プロジェクト実行委員会だけの力ではなく、プロジェクトを支えていただいた関係者の皆様、支援金に協力いただいた皆様、そして、商品を買うことで支援していただいた皆様がいて成功できたと思います。

今後は、この第1回の復興支援を生かし、更により復興支援を第2回、3回と後輩の高校生には、続けていってほしいと思います。

最後に、この冊子では、このプロジェクトがどのようなものであったかを分かりやすくまとめられていますので、どうぞご覧ください。

〈目次〉

- ◆高校生プロジェクトの趣旨について・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ◆組織構成・参加生徒一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- ◆売上金の使いみちについて・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
- ◆活動支援金（協賛金）にご協力いただいた団体・会合・・・・・・・・P 3
- ◆東北の物産紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
- ◆写真で見る高校生プロジェクトの取り組み・・・・・・・・P18
- ◆当日のスナップ写真・・・・・・・・・・・・・・・・P38
- ◆市内高校生へのメッセージ・高校生アンケート・・・・・・・・P42
- ◆決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・P46
- ◆日本ユネスコ協会連盟からいただいた御礼状・・・・・・・・P47

○高校生プロジェクトの趣旨について

1. 実施骨子

東北の物産を買う（仕入れる）ことで復興の支援となり、それを8月26日（日）北海道岩見沢市において開催される「第29回ボランティアフェスティバル岩見沢」で販売し、売り上げを東北復興のために役立てる。また、これに先立ち、7月中旬から、様々な行事、機会等で前売予約券を販売する。

標語「買って支援、売って支援」

2. 目的

- ・ 東北の物産を購入することで、東北の生産者への支援とする。また、それを販売し売り上げを東北復興支援のために役立てる。
- ・ 一連の活動の中で、支援の輪を広げ、復興への意識高揚とする。
- ・ 地域の次代を担う高校生が中心となって行うことで、ボランティアフェスティバルへの参加者層を豊かにし、世代間の交流とする。

3. 組織構成

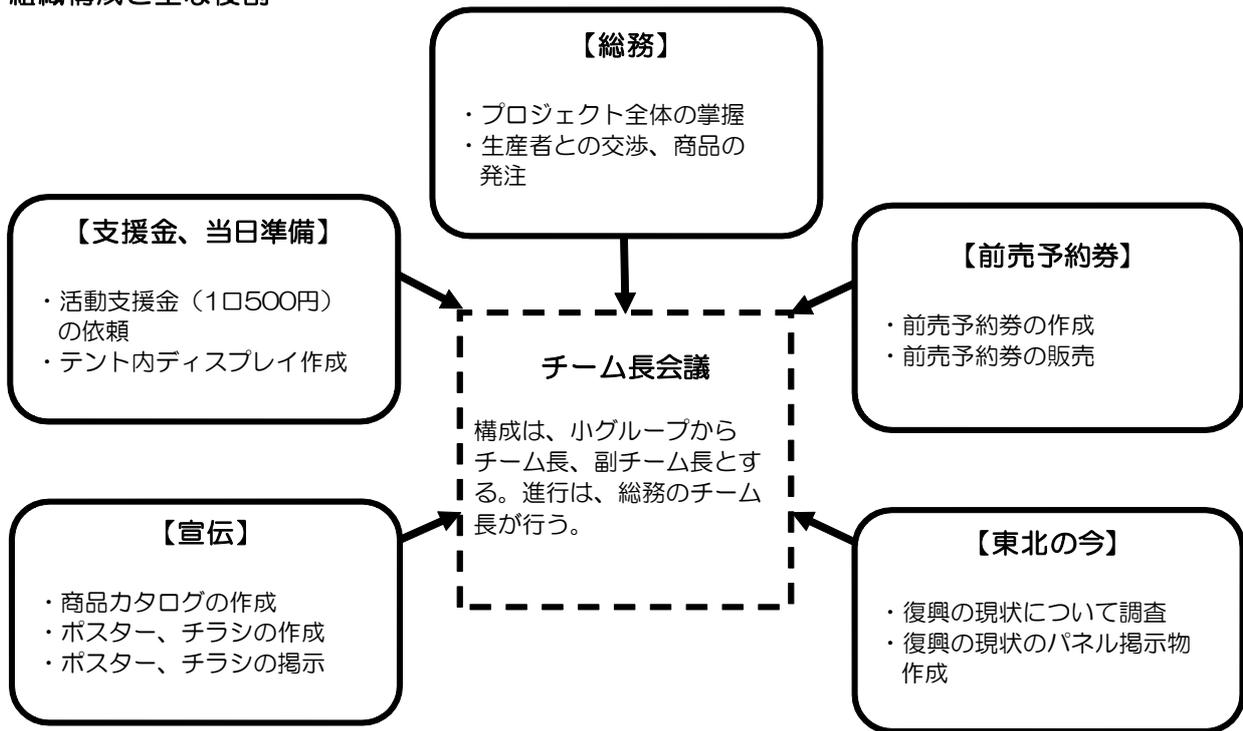
- ・ 上記に賛同する市内高校生を中心に構成する。
- ・ このプロジェクトは、金銭や物品の取扱い及び様々な団体との連携を要することから、岩見沢市社会福祉協議会が代表団体となり主管する。
- ・ 生徒への指導、助言に当たっては、プロジェクトに賛同する様々な方（大人）の協力を必要とする。よって、協力いただける方で、「プロジェクト大人会議」を組織し、アドバイザーとして生徒と関わる。

4. 具体的な取組み

- ・ 上記に賛同する高校生でグループを作り、グループ毎に販売物資を選定し、購入（仕入れを）する。
- ・ 東北の物産を購入する（仕入れる）資金を確保するため、1口500円の活動支援金（協賛金）を岩見沢市内の関係機関・団体より募集する。
- ・ このプロジェクトの取組みを周知するため、ポスター、チラシ等を岩見沢市内各所に掲示する。
- ・ 東北の商品仕入先と連携し、商品カタログを作成し岩見沢市内各所に設置しPRする。
- ・ 復興の現状について東北の商品取引先や復興支援に携わった岩見沢市内関係者より資料収集（聞き取り調査も含め）しまとめ、展示物を作成することで岩見沢市民に復興の現状や被災された方々の想いを知らせる。
- ・ 当日販売に先立ち、市内イベント等において前売予約券を販売する。

○組織構成と主な役割、参加生徒一覧

1. 組織構成と主な役割



2. 参加生徒一覧

大グループ	小グループ										学 校
	チーム長		副チーム長		メンバー						
総務	3年	柳原 美咲	3年	山本 彩代	3年	宮本 巧美	3年	伊藤 育美	3年	石川 萌子	農業高
支援金、 当日準備	2年	鶴飼 摩利亞	2年	木嶋 ちひろ	2年	小田嶋 愛美	2年	岩倉 佑紀	2年	長坂 瑛美	農業高
	2年	久保 愛梨	2年	佐藤 菜々美	1年	黒田 奈々子	1年	小倉 明日香	1年	阿部 葵	緑陵高
前売 予約券	2年	坂上 勇耶	2年	松田 卓弥	2年	福士 雄也	2年	木村 祐貴	2年	中西 亮太	農業高
	2年	四十九 実里	2年	村上 文瑚	2年	大柳 貴	3年	岩城 拓実			東高
宣伝	2年	帰山 紗江	2年	置田 梨奈	2年	佐藤 李香	2年	高橋 七海	2年	小林 果鈴	東高
	1年	上野 幸樹	1年	藤原あおい	2年	青木 美華					農業高
	2年	窪田 有沙	2年	岩田 瑞稀	2年	岩館 まりや	2年	中山 夏希	2年	荒田 和美	農業高
	2年	木村 舞李	2年	川俣 ゆりえ	1年	櫻田 和人	1年	上路 真帆	1年	前田 早葵	農業高
東北の今	2年	鈴木 健太	2年	武内 優太	2年	長山 奈央	1年	佐藤 滉大			農業高
	1年	吉本 三咲	1年	綾川 莉央	2年	西村 聖華	2年	山根 佳耶	2年	中道 美里	農業高
	3年	佐々木 まどか	3年	藤原 千南	2年	佐藤 亜耶	2年	一戸美沙樹	2年	井田 菜摘	農業高
	2年	金山 竜司	2年	新井 優也	2年	澤田 千明	1年	有澤 結衣	1年	石井 すみれ	緑陵高
					1年	豊永 愛菜	1年	三塚 麻里佳			緑陵高
東北の今	2年	鈴木 健太	2年	武内 優太	2年	吉田 醇斗	2年	中山 皓太	2年	木村 翔太	農業高
	1年	吉本 三咲	1年	綾川 莉央	1年	大矢 樹乃	1年	小寺 理沙	1年	中村 愛	農業高
	3年	佐々木 まどか	3年	藤原 千南	1年	阿部 香奈絵	1年	菊池 玖瑠美	1年	福田 綾香	緑陵高
	2年	金山 竜司	2年	新井 優也	3年	古田 早紀	3年	田中 杏奈	3年	明石 沙織	緑陵高
				1年	太田 由唯	1年	菅原 彩花	1年	鈴木 香澄	緑陵高	
				1年	林 諒太郎	1年	作田 このみ	1年	西 凌佳	緑陵高	
				1年	伊藤 莉奈	1年	夏川 佳奈			緑陵高	

○売上金の使いみちについて

今回の物産販売による売り上げについては、被災し就学困難になっている高校生、及び、未来の高校生（現小中学生）が安心して学べる環境になるための一助として役立つことを願って、全額「東日本大震災子ども支援 ユネスコ協会就学支援奨学金」として役立ててもらうことにしました。

（この奨学金に関しては以下のユネスコ協会ホームページの抜粋で趣旨をご理解下さい。）

「ユネスコ協会就学支援奨学金」は、東日本大震災で家を失ったり、ご両親が仕事を失ったりと、経済的な理由から就学が困難になった子どもたちを支援するものです。原則として、ひとり月2万円を3年間給付します。

2012年5月31日現在、宮城県気仙沼市、石巻市、仙台市、南三陸町、岩手県大槌町、陸前高田市において、計1,534名の児童・生徒へ奨学金の給付が決まりました。

本奨学金は、ご賛同いただきました各種企業・団体・個人の皆さまからのご寄付によって成り立っています。ご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

震災の被害による経済的な理由で就学が困難になっている小・中学生は4万4千人にのぼるといわれており、まだまだ支援が必要とされています。引き続き、みなさまのご協力をお願い致します。

○活動支援金（協賛金）にご協力いただいた団体・会合

ボランティア活動者交流会	岩見沢青年会議所	岩見沢警察署親睦会
岩見沢地区消防事務組合	介護老人保健施設ゆあみーる	岩見沢脳神経外科
空知信用金庫	空知信用金庫役職員一同	岩見沢市役所
岩見沢市教育委員会	岩見沢保健センター	岩見沢市地域包括支援センター
みその保育園	岩見沢商工会議所	岩見沢農業高校
岩見沢緑陵高校	岩見沢東高校	岩見沢市社会福祉協議会

A. シージェッター海斗 元気守 (宮城県登米市)



価格 800円

製造元 柳津福智満

虚空蔵尊

石ノ森章太郎が生んだ、
宮城県石巻市のローカルヒーロー・シージェッター海斗を
デザインしたお守りです。

商品について (こんな思いで作っています)

石巻の地元ヒーロー、シージェッター海斗のお守りです。海斗のように元気にたくましく日々を過ごせるようにご祈願しました。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

遠く北海道から、被災地に心をお寄せ下さって本当にありがとうございます！被災地の人々は一生懸命頑張っていますが、復興はまだまだです。どうぞ、お力をお貸し下さい！

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

被災者さんは皆、震災前の生活に戻ろうと笑顔でがんばっています。被災地の報道は減少の一途ですが、皆さまのお気持ちがこちらに向くというだけで嬉しいありがたいことです！

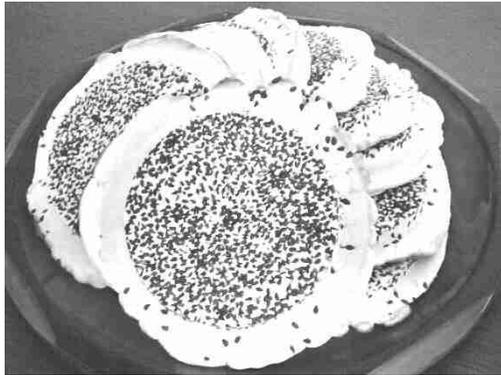
Etc. & 追伸

この度は、本当にありがとうございます。お寺で支援活動をしている様子をブログにアップしているのでは是非ご覧下さいませ！



B. 南部せんべい (6枚入り)

みみつきごま (岩手県二戸市)



価格 105円

製造元 有限会社

石橋煎餅

賞味期限 90日

原材料 小麦粉・ごま・
食塩・膨張剤

商品について (こんな思いで作っています)

弊社は昭和34年創業以来、半世紀に渡り南部せんべい本来の味を守りつつ、更に時代に合った商品作りに社員一丸となって取り組んでいる所であります。その中でも耳付ごませんべいは、南部せんべいの原点と言われる商品となっており、素朴でありながら、噛めば噛むほど味わいのあるおせんべいとなっております。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

この度は、岩手の小さなおせんべい屋にお声をかけて頂きまして誠にありがとうございます。実際に、高校生からこのようなお話が来たのは初めてで、とても感動致しました。このプロジェクトを長期にわたり続けて行くことにより、被災地の皆さんの励みになると思います。これからも頑張ってください。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

この度は、弊社商品を御購入して頂きまして誠にありがとうございます。東日本大震災から1年半が経とうとしています。正直な所、1年を過ぎるとテレビでも雑誌でも震災の情報が少なくなり、だんだん記憶から薄れていっているような気がします。被災地では徐々に復興が始まってはおりますが、がれき問題や原発の風評被害が広がっております。勿論、汚染された商品が出回ることは無いと思いますので、東北の色々な物を購入して頂ければ幸いと存じます。復興には長い時間を要すると思いますが、末長い目で見守って頂ければ幸いです。この度は誠にありがとうございました。

C. 仙臺まころん (フレーン) (仙台市青葉区)



価格 370円

製造元 伊藤食品工業所

大きくって食べ応えがあります。粒子が細かくて食感がとてもまろやかです。

商品について (こんな思いで作っています)

「仙台まころん」は自家焙煎した落花生を粉末にし、地鶏有精卵と上質な砂糖を加えて練った生地を80余年伝承された独自の製法で香ばしく焼き上げた菓子です。

おいしさとともに安心をお届けしたい。

一貫生産だからこそできる品質の保証

私たちは、厳選した落花生を仕入れ、生地づくりから販売まで、全てを自社で行っています。それは、お客様の口に入るものだからこそ、安全で高品質な原料を自分の目で確かめ、責任をもって製造したいのです。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

震災から1年以上が経っても、このような支援を続けてくださることに大変感謝しています。全国で高校生が文化祭等で支援に取り組んでくださるケースが多く、若いパワーを頼もしく思います。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

震災直後、ライフラインが途絶え、食料品の確保にも苦勞し、商売を続けていけるか不安でした。でも全国のお客さんからご注文をいただき、『おいしい』と喜んでいただいたことが私どもの力となりました。これからも、皆様に喜んでいただける商品を作ることで、支援して下さる皆様に恩返しをしていきたいと思っています。

Etc. & 追伸

皆様の温かいご支援に感謝しています。ありがとうございます。東北全体の復興には、まだ時間がかかりますが、少しずつ前進していきますので今後とも、よろしくお願い申し上げます。



D. 三陸オキアミふりかけ



価格 630円

製造元 (株)ベジ&フルあきた

ナタネ油とゴマ油にフライドガーリック&オニオンと乾燥オキアミ、比内地鶏コラーゲン等を入れ、醤油・砂糖・ゴマ・唐辛子・塩・生姜で味付け化学調味料無添加

商品について (こんな思いで作っています)

三陸産のおきあみの風味を活かしたしっとりタイプのふりかけです。化学調味料無添加商品です。ごはん、うどん、そうめん、冷や奴、おにぎり、納豆などに。

作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

社会に積極的に関わろうとする気持ちを長く持ち続けて下さい。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

皆様方のお気持ちが励みになります。

E. 三陸海藻 (わかめ・のり) (宮城県石巻市)



価格 945円

製造元 有限会社

井上商店

商品について (こんな思いで作っています)

弊社は品質にこだわっており、三陸わかめの中でも検査一等の品物を販売しています。また焼海苔についても宮城県での検査で評価の高い海苔を仕入れています。

作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

弊社の商品を選んで頂きありがとうございました。販売を通し私達だけではなく、漁師の方々も元気になっていきますので頑張ってください。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

三陸の漁師が必死の思いで作ったわかめと海苔を購入して頂くことで三陸の浜が復活していきます。どうぞよろしくお願い致します。

G. 幸福の黄色い折鶴



価格 200円

製造元 株式会社
ストラップ屋ネクスト

ビン 約縦 2.6×直径 1.3cm

商品について (こんな思いで作っています)

東日本大震災で被災された方に仕事を！というコンセプトを元に、ストラップや商品開発を行いました。実際に、被災地の方々に小さな折鶴を折って頂き、ビンに詰めて頂いて、この商品は出来上がります。小さな小瓶に入った小さな黄色い折鶴。この「幸福の黄色い折鶴」には、生きる力、希望、そして、2011年3月11日の忘れてはいけない記憶、様々な思いが込められています。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

ボランティアや、商品の販売といった社会経験は、今後、社会に出ていく上で大きな糧になることと思います。参加した時間が有意義なものとなるように、皆さんで協力して、プロジェクト成功のために頑張ってください。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

震災から時間がたち、だんだんと震災の記憶が薄れているのを感じます。ですが、まだまだ、多くの方が震災前の生活に戻れない状況が続いています。日本が悲しみに包まれながらも、一致団結し、自分の出来ることを模索し、奔走したことを、幸福の黄色い折鶴ストラップを見るたび、思い起こしていただき、後世に伝えていただきたいと思いますように、願っています。

そして、被災された一人でも多くの方に仕事を、そして、笑顔を届けるためにも、たくさんの方にご賛同していただけますと大変嬉しく思います。

Etc. & 追伸

東北復興のために支援金として役立てるためのイベントにて、弊社企画の支援商品を販売いただける機会を得ることが出来、大変光栄に存じます。末永く続くイベントとなりますように願っております。

H. 「ひとりじゃないよ」湯呑 (青森県五所川原市)



価格 1000円

製造元 津軽金山焼

釉薬を一切使わずに 1300 度の高温でじっくりと焼き上げて固める「焼き締め」の手法を用いる津軽金山焼

商品について (こんな思いで作っています)

震災後、私達に出来る事は何かを考え、この湯呑を製作しました。私達に出来ることは焼物を作ること。地震で食器が壊れた方の為もありますが、それ以上に数多くの大切な物を失った方の心の支えになってほしいという願いで「ひとりじゃないよ」湯のみを作りました。販売した売り上げ全てを義援金に、被災県の方へはプレゼントとして贈る事をこれからも続けていきます。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

大変な時に手をさしのべてくれる、高校生の若い力があるととても心強いですしとても感心なことと思います。このような輪がひろまり復興へと導いてくれることでしょう。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

東北には他県に誇れる産品がたくさんあります。一度失いかけたそれらを皆様のお力を借りてまた前に進み、より良くすることに全力をつくします。

Etc. & 追伸

復興にはまだまだ時間がかかり、この先何十年もかかるでしょう。

手をさしのべてくれた分、なにかあったときには東北も手をかし、共に支えあって行きたいと思えます。この様な支援、お心使いに大変感謝しております。



1. エコたわし（宮城県仙台市）



価格 200円

製造元 公益社団法人
仙台市シルバー
人材センター

商品について（こんな思いで作っています）

「エコたわし」は、アクリル100%の毛糸で作ってあるため、アクリル特有の細かい繊維でできている弾力性のある毛糸と、毛糸どうしが生み出す通気性・通水性のおかげで、マイクロレベルの細かい汚れをかき出して取り込んでキレイにしてくれます。洗剤いらずだから、化学物質を出さずに水を汚さずに環境にやさしく肌にもやさしいミラクルエコとなっています。

被災者である作り手の心がこもったエコたわし。人々のつながりから希望が生まれることを象徴しているかのように固くしっかり編まれています。また、かわいいだけではなく、スタッフの熱意と試行錯誤により、使いやすく工夫されています。製作者のメッセージ付きになっています。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

震災から1年が経過し、被災地で不自由な生活を余儀なくされているみなさんも震災への向き合い方にもそれぞれ変化が出てきています。しかし、まだまだ沿岸部で生活をされていた方々は大変な状況が続いており、復興へのみちのりは厳しい状況です。たとえ小さいことでもいいから私たちのできる事を、みなさんと共に知恵を寄せ合い、取り組んでいきましょう。今回の岩見沢の若い高校生の皆さんの取り組みは、被災地の皆さんの心に必ず届きます。共に頑張りましょう！

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

いま私たちが取り組んでいる東日本大震災被災者生きがい支援「心と心をつなぐエコたわし」プロジェクトは、昨年4月から取り組み、仙台市内2ヶ所の避難所からスタートしました。当初の製作は震災時のつらい思いを話し合う時間でしたが、仮設住宅に移った現在は、過去のことを忘れられるひとときになりました。集会所に集まった際にはお互いの作品を見ながら「かわくなるかどうかは、目がポイントね」「私の願望が出て、ちょっとスリムになったわ」と話が盛り上がっています。仮設住宅のお母さん達が、編み目を数えながら無心に、ときに会話をしながら楽しく編みました。最高で94歳のおばあちゃんが参加してくれました。「こうした機会がなかったら、この年になって編み物をする事はなかったと思う。どうもありがとう」と感謝

してくださいました。ほかにも「作っているときは夢中になれるので、津波や地震のことも忘れられる」「余震が続いて不安だけれど、作っているとその気持ちから離れられる」、また色とりどりの毛糸を見て「気持ちが明るくなった」という声もあり、皆さん明るく前向きに取り組んでくれています。

おかげさまでこの取り組みが多くの方に支援され、全国各地の皆さんのご協力により、まさに「心と心をつなぐエコたわし」となって全国各地へ飛んでいます。このたび岩見沢の高校生の皆さんの活動により、「エコたわし」が初めて北海道へ渡ります。皆様方の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

Etc. & 追伸

当センターでは東日本大震災後、被災者の生きがい支援活動として「エコたわし」製作プロジェクトを立ち上げました。この取り組みは、仮設住宅で不自由な生活を余儀なくされている高齢者等の方々に「エコたわし」を製作していただき、わずかではありますが収入を得て頂くとともに、高齢者の孤立を防ぐためのコミュニケーションの場を提供し、生きがいを得てもらうことを目的としています。



第1回復興支援

東北の物産販売 高校生プロジェクト

高校生が
作りました

TOHOKU ONE FOR ALL FOR JAPAN
TOHOKU ONE FOR ALL FOR JAPAN

買って支援、売って支援

東北の物産を仕入れ、
その商品を8月26日の
「ボランティアフェスティバル」
で販売し、売り上げ金を
寄付します。

また、7月中旬から
前売予約券を販売します。

商品を購入するための
「支援金」よろしくお願いします。

はしゃいでい
ようね

★シーレッター海斗 元氣守 ★がんばるぽこ
★みみつきごま(6枚) ★仙臺まごころ(プレーン) ★エコたわし
★三陸オキアミブリかけ ★三陸海藻(わかめ・のり) ★鬼喜来箸
★幸福の黄色い折傘 ★ひとりじゃないよ湯呑 ★バコ政宗たん子たー

東北復興支援のため、ぜひ買って下さい!!

お願いします♡

J. 鬼喜来箸（岩手県大船渡市）



価格 1000円

製造元 オキライクリエーション

鬼喜来は旧称で、鬼が喜んで来ると言われていた。復興のシンボルマークである鬼やひまわりをあしらっている。

商品について（こんな思いで作っています）

津波で壊滅した岩手県大船渡市越喜来地区では若者たちが山の資源に目を向け、箸を作りはじめました。自分たちの故郷のために何かしたいという思いから、本気で未来を見据え、本当にいい箸を作ることを目指しました。幸福と復興の黄色をあしらった完全に手作りの一本ものですので、ぜひお試しください。



作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

自分の故郷のために何かしたいと思う気持ちはだれでも同じです。皆さんも同じだと思います。本当にありがたいことを企画してくれました。忘れないでいてくれる人が、少しでも増えることを願っています。ありがとうございます！

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

ぜひ、大船渡にお越しください。ただ、きていただけるだけでありがたいです。

Etc. & 追伸

企画・運営いただいた皆様本当にご苦労様です。そしてありがとうございます。私たちも頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。皆様もお体に気を付けて活動されてください。

箸は、岩手県産の木材を使い、秋田在住の箸職人、躑躅森（つつじもり）氏の監修のもと作られます。

K. べこ政宗牛たんシチュー (宮城県仙台市)



価格 525円

製造元 べこ政宗

1パック入り/210g

賞味期限 常温 360日

原料原産国:

オーストラリア・ニュージーランド

商品について (こんな思いで作っています)

仙台名物「牛たん」を使った新しい名産品の開発。

肉売りのノウハウを活かした商品開発。

牛タンの持ち味を引き出すようにじっくりとやわらかく煮込みました。

作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

「絆」「支援」等、流行語のように氾濫しております。

世間の波に飲み込まれず、何が本物なのかを見抜く目を考える頭を養ってください。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

原発の廃止と、増税の反対。

一時的な支援ではなく「忘れないこと」が大切だと思います。

名前の由来

郷土の誇り、伊達政宗。

仙台には誇るべき人物がいました。名將伊達政宗公です。2001年に仙台市は伊達政宗公による開府400周年を迎えましたが、この政宗公という人物は相当な人であったのです。

中央政權たる豊臣秀吉になかなか従わず、徳川家にも面従腹背であったとされ、「サンファン・パウチスタ号」を建造し、ローマに使節を送ったり、「国際人」であったとされています。

私たち仙台人はこの政宗公の意地というようなもの、誇りというようなものを感じざるを得ません。

仙台の食文化を広く紹介するなら、ぜひ彼の名前を使いたいと思いました。それで、ブランド名は彼の名前をもじり、「べこ(東北では牛のことをこう言います)」を合わせ、「べこ政宗」として商標登録をしました。



べこ政宗
BEKO MASAMUNE

L. 牛たんジャーキー

(宮城県仙台市)



価格 380円

製造元 喜助

【内容量】1パック 28g

【原材料】牛たん、醤油、還元水飴、
砂糖、食塩、酵母エキス、調味料
(アミノ酸等)、酸化防止剤(VC、
VE)、香辛料抽出物、保存料
(ソルビン酸K)、発色剤
(亜硝酸Na)、
(原材料の一部に大豆を含む)

【原料原産地】オーストラリア・
ニュージーランド産(牛たん)

【アレルギー】小麦 【賞味期限】150日

商品について (こんな思いで作っています)

厳選した牛たんの中でも脂分の少ない部分を使用し、じっくりと乾燥させて仕上げました。お酒のおつまみとしてはもちろんのこと、お子様のおやつとしても最適です。試行錯誤した醤油ベースのたれの味は10年以上たつ今も変わらず、お客様にご好評をいただいております。牛たん焼きだけではなく新たな味わいを是非ご堪能いただければと思います。

作っている方からのメッセージ

このプロジェクトに関わる高校生に

大変貴重な経験になるかと思えます。自分自身で何ができるかを考え、主体的に動き、たくさん失敗をして今後の糧にさせていただければ良いと思いますので、是非全力で取り組んでください。

購入した、購入を考えている岩見沢の方々に

おかげさまで現在では全店舗、通常営業ができるまでに回復いたしました。昭和50年創業以来、牛たん一筋、手づくりの味にこだわり続けております。一人でも多くのお客様に喜助を、そして喜助の味を知っていただきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

Etc. & 追伸

本年9月7日~16日に札幌三越様の物産展に出店いたしますのでお時間がありましたら是非お立ち寄りください。



～ 商品生産者へのメッセージ（抜粋） ～

【牛たんジャーキー】

先日、仙台に行き、牛たんを食べました。今まで食べていたものとは比較にならない程、おいしかったです。元通りになるまでには時間がかかると思いますが、味を守り、おいしい牛たんをつくり続けてください。

（女性 研究員 33歳 神戸大学）

【南部せんべい（みみつきごま）】

私は、教職員組合で昨年5月に石巻にボランティアに行きました。海岸のガレキの残っている様子を見て、復興と言っても、数年かかると思いました。南部せんべいはいつも買っています。心から応援しています。がんばって下さい。できれば又ボランティアに行きます。

（男性 教員 50歳 岩見沢農業高校）

【仙臺まころん、べこ政宗牛たんシチュー】

身内が仙台・石巻に居るので、いつもそちらの品物食べています。特に、マコロン、牛タンシチューは子どもたちにも好評です。これからも応援者は沢山いるので頑張ってください。（女性）

【幸福の黄色い折鶴】

可愛い折鶴ストラップを家族の分購入しました。大変厳しい状況の中、どうぞ頑張ってください。少しでも皆さんの協力ができればと思っています。

（社協職員 49歳）

【「ひとりじゃないよ」湯呑】

“つらいとき 背中をさする 友がいる”（34歳 男性 小売店店員）

【三陸オキアミふりかけ、三陸海藻（わかめ・のり）】

見てすぐおいしそうってわかりました。早く家に帰って食べたいです。来年も売っていたらうれしいなあ。（女性 40代 主婦）

【鬼喜来箸】

鬼喜来箸を購入しました。この度の震災ではたくさんの方が亡くなり、また、被害にあわれ、遠くに住む私たちもとても胸をいためています。けれども、皆さんが前を向き復興にむけて努力している姿は、私たちにも力をかけていただいています。幸福の黄色で作られたこの箸。色の可愛らしさにひかれました。手作りの優しさを感じながら大切に使用させていただきたいと思います。（43歳 女性 福祉関係勤務）

【シージェッター海斗元気守、がんばるべこ】

チャーミングながんばるべこを購入させていただきました。北海道からできることは微々たるものですが、これからも被災地のことを忘れずに生きていようと思っています。シージェッター海斗は車につけようと思っています。

（27歳 女性 会社員）

【エコたわし】

あの日から一年半が過ぎようとしています。そんな中で頑張っている姿を想像しながら多くのことを学んでいます。私の知り合いも福島で避難せず得ない状況ですが、いつの日か故郷に戻れることを願って頑張っています。はるか遠い岩見沢の地で少しでも力になりたいと今日も高校生プロジェクトに参加しました。お身体に気をつけて復興の日にむけて歩いて下さい。

（女性 70代）

【三陸海藻（わかめ・のり）、べこ政宗牛たんシチュー】

三陸のワカメ大好きです。一人の力はたいした事はできないと思いますが、皆で助け合おうと大きな力になると思います。早い復興を願っています。

（女性 62歳 主婦）

【シージェッター海斗元気守、がんばるべこ、エコたわし】

あの震災から1年以上が過ぎましたが、私達は今も忘れていません。皆様の気持ちがこめられました商品を購入し、ささえいですが応援になればと思います。北海道の岩見沢から想いをこめて・・・復興を願っております！！

（男性 32歳）

○写真で見る高校生プロジェクトの取り組み



【6月14日】 第1回チーム長会議 開催

岩農ボランティア同好会・緑陵ボランティア部・東高ボランティア部を代表するチーム長・副チーム長20名が集まり、第1回チーム長会議を開催しました。

本プロジェクトの趣旨やこれからの取り組みの役割分担などについて話し合い、この日から「第1回 復興支援 東北の物産販売 高校生プロジェクト」がスタートしました。



【6月25日】 総務グループ

**本プロジェクトに参加している学生12グループから仕入れを
したい東北の物産をとりまとめ、8月26日に販売する12品の賞
品を決定しました。**

**緊張感が高まるなか東北の生産者に電話連絡をし、プロジェクト
の説明と商品に関するアンケートなどの協力をお願いをしました。**



【6月28日】 東北の今グループ

東北の復興の歩みや現状を市民に伝える役割の東北グループは、この日は取材のため、岩見沢青年会議所の方から岩手県大船渡市で行った被災地支援の内容やその中で感じたことなどについてお話を伺いました。



【6月28日】 東北の今グループ

こちらにも、被災地支援の取材として、今年の3月9日～11日に岩見沢駅において行われたチャリティコンサート「大空と大地の中で」の取り組みについて実行委員会の方よりお話しをいただきました。



【6月29日】 支援金、当日準備グループ

東北の物産を仕入れるための購入資金（活動支援金10500円）協力の呼びかけを「ボランティア活動者交流会」に参加している100名の皆さんの前で行いました。

この日は、43,000円の活動支援金が寄せられました。



【6月29日】 前売予約券グループ

学校祭や市内のイベントで販売する前売予約券を作成するため、グループのみんなで前売予約券の構成を考えています。

前売予約券には、東北6県のイメージキャラクターを使うことにしました。



【7月3日】 東北の今グループ

この日は、被災地支援の取材のため、北海道教育大学岩見沢校を訪問し、アウトドア・ライフ専攻の教員と学生の皆さんに岩手県野田村での被災地ボランティアの取り組みについてお話を伺いました。



【7月10日】 宣伝グループ

学生達による手作りの商品カタログを作るため、この日は製本作業をしました。

商品カタログには、商品紹介はもちろん商品購入を考えている市民の皆さんや本プロジェクトに取り組む高校生に向けた生産者からのメッセージが掲載されています。



【7月14日】 岩農ボランティア同好会

岩見沢農業高校の学校祭の会場内で前売予約券を販売しました。

この日は、6,860円の売り上げがありました。



【7月19日、20日】 緑陵ボランティア部

岩見沢緑陵高校の学校祭で2日間、前売予約券を販売しました。

2日合わせて11,310円の売り上げがありました。



【7月22日】 岩農ボランティア同好会

緑が丘地区町会連絡協議会主催「ワッショイ祭り」の会場において前売予約券を販売しました。

この日はたくさんの方に前売予約券を購入いただくため、マイクで会場の皆さんに呼びかけをさせていただき、26,755円の売り上げがありました。



【7月24日】 第2回チーム長会議 開催

第2回チーム長会議では、各グループのこれまでの取り組みについて報告し合い、8月26日の販売当日に向けた準備についてどのように進めていくか話し合いました。



【8月1日】 宣伝グループ

この日は、8月26日販売当日のPRのため、ポスター掲示の打合せを行い、グループに分かれて市内各所にポスターを貼っていただけようお願いに行きました。



【8月1日】 支援金、当日準備グループ

この日は、岩見沢商工会議所青年部の役員会に出席し、協力をお願いしていた活動支援金の受け取りと本プロジェクトのPRを行いました。



【8月4日】 前売予約券グループ

この日は、岩見沢市老人クラブ連合会主催「高齢者福祉センターふれあいまつり」の会場において前売予約券を販売しました。

6,525 円の売り上げがありました。



【8月6日】 総務グループ

この日は、皆さんから寄せられた活動支援金と前売予約券の売り上げをもとに商品の販売個数を確定し、東北の生産者へ商品発注の電話連絡をしました。



【8月7日】 東北の今グループ

この日から2日間、これまで行ってきた被災地支援に携わっていた方々からの取材をもとに、当日の販売ブースで展示する東北の復興の歩みや現状を伝えるパネル資料を作成しました。



【8月7日】 支援金、当日準備グループ

こちらは、8月26日当日の販売ブースのディスプレイの準備作業を行いました。

本プロジェクトや商品のPRについてどのようにするかみんなで知恵を出しあっています。



【8月17日】 宣伝グループ

8月26日の販売ブースにおいて東北の商品を購入いただいた方に渡すメッセージカードの準備作業を行いました。



【8月20日】 全体会議

この日は、本プロジェクトに参加している高校生が一堂に集い、これまでの全体の進行状況の報告と当日に向けての最終確認を行いました。









○出張販売



岩見沢市役所



岩見沢青年会議所

第1回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト 市内高校生へのメッセージ（抜粋）

- ◆今日の日を迎えるまでの準備等、大変だったと思います。ご苦労様でした。直接現地に行かずとも、このような形で復興にたずさわれた事を誇りに思ってください。お疲れ様でした。
（女性 看護師 42才）
- ◆このプロジェクトは素晴らしいと思います！東北の方は、喜んでくれると思いますし、このプロジェクトに参加した生徒は必ずこれからの人生にとって良い経験になると思います。これからもこのプロジェクトが続くことを応援しています！（男性 団体職員 31歳）
- ◆誰かが困っている時に手を差しのべられる、できそうで、できない事もあるけど、これからも実践して行って下さい。（地方公務員 53歳 女性）
- ◆高校生が自発的にこの様な活動を行っていることに感心しました。細く長く、続けていける様、頑張ってください。（女性 研究員 33歳 神戸大学）
- ◆皆さん今日はお疲れ様です。皆さんの暖かい心が必ず届き、地方の人々も勇気がわいてくると信じています。本当にありがとうございます。皆様に心から感謝いたします。（男性 64歳）
- ◆人のためにできることをするのはとても素晴らしいと思います！大人も、負けずに頑張りたいと思います！（主婦）
- ◆今後も取り組みをぜひ続けてほしいです。たくさんの大人もまきこんで、がんばってください！
（27歳 女性 会社員）
- ◆素晴らしい皆さんですね。これからも復興支援頑張ってくださいね。初めてプロジェクトチーム、これからも回を重ねて継続していけます様にお祈りしております。（主婦）
- ◆気仙沼に私も1週間ボランティアに行ってきました。そのときも高校生、大学生などの若い人たちがたくさんボランティアに来ていました。いろいろな形で若い皆さんが頑張ることは素晴らしいと思います。これからもがんばってください。（50代 男性 市議）
- ◆今年が第1回目なので、来年、その次の年もあるのかな。楽しみにしています。ファイト！！
（女性 40代 主婦）
- ◆皆さんのことは、準備の段階から見ていましたよ。夏休み中も準備に、会議に、大変御苦労様でした。来年も楽しみにしています。（男性 団体職員 52歳）
- ◆大きなダメージを受けた地方や皆さんのための復興支援や応援が復興の「大きな大きな」支えとなると確実に信じております。若い力を結成して東北地方を、日本を盛り上げてください。
（男性 無職 60歳）
- ◆岩見沢の高校生、頑張っていますね。若い力、楽しみです。私達老人も少しでも力になれる様、買います。（女性 62歳 主婦）
- ◆日曜の大切な日を、こうして、ボランティアに使う皆さんすばらしいです。これからも、応援しています。（女性 主婦）
- ◆“人のために役に立ちたい”大人になっても今の気持ちを、ずっと忘れず、持ち続けてください。
（女性 56歳 公務員）
- ◆高校生が校外で協力して被災地を支援すると知り応援してきました。ボランティア、されどボランティア。やった人だけが知る快感ですね。街で会ってもよろしく。（74歳 幌向在住 年金生活者）
- ◆いつも農業高校のそばを歩いて市民会館にコーラスの為、通ります。皆さんとてもあいさつも、きちんとしてくれるので素敵な学校と思っています。又、緑陵高校は私の住む緑が丘、とてもおなじみで

す。街の活動に若い高校生の力は本当に有難いし、将来の力強さを感じます。ガンバレ、岩見沢の若人！！（主婦 60代）

◆緑が丘地区のわっしょい祭りでこのプロジェクトを知りました。若い人たちが知恵を出し合ってこのような活動をしているのがとてもうれしいです。みんなが助け合う社会に生きていることを体験していると、困ったときに素直に助けを求められると思います。（女性 73歳）

◆私は皆さんの暖かい気持ちに感動しています。これからも1人、ボランティアとして成長されることを期待しております。（男性 71歳 行政相談委員）

◆今回の取り組みに協力することが出来ました。今回の取り組みを継続的に行っていただける様お願いいたします。（空知信用会庫営業部）

◆一人一人の思いが伝わります。その力が復興支援となります。頑張ってください。（男性 福祉施設職員）

◆この取り組みを行うにあたり、市内3校の高校生が自分達で考え、自分達で行動し、自分達で作上げたお話を伺いました。支援金を集める活動もすべて行い、皆さんの熱意がたくさんの方の賛同を得られ多大な支援になったとの事もうなづけます。仕入れる商品のバランスなどを検討したのも皆さんだとお聞きしました。思いを考え、行動する皆さんをすばらしいと思います。この活動は今回が第1回であり、今後も続けて行こうとの事。どうか、皆さんのご活躍が末永く続きますように。（43歳 女性 福祉関係勤務）

◆若い高校生が取り組むことは素晴らしいと思います。高校生が集まって、学校の壁を超えて、一つのことに取り組むこともとても良いことだと思います。君たちの努力が必ず復興への希望となることを願っています。（岩見沢緑陵高校）

◆何かをしなくちゃ、何かをしたいという気持ちを持ったこと。それを行動に移していることに、何か、こちらもうれしい気持ちになります。又、僕自身もそれを見習いたいと思います。純粋なきもちを持ちつつ欲しいし、そういう、良い刺激を周りに伝えていってください！僕も持ちつつけたいと思います。（岩農 教員）

◆被災者の方には断続的でもいいので長い期間の“おもいやり”が必要だと思います。気持ちを形にできることはすばらしいことです。「少しずつ、できることを」で、良いと思います。今後もがんばってくださることを期待し応援したいと思っています。私達もがんばります。いっしょにがんばっていきましょう！！（北海道教育大学岩見沢 教員）

◆東北の今について考え、支援する今回のプロジェクトはとても素晴らしいものだと思います。今回のプロジェクトをきっかけに、今後もいろいろなことに取り組んでいってほしいです。応援しています。（北海道教育大学岩見沢校 4年）

◆「東北のために何かしたい」と思う高校生はたくさんいると思います。しかし、それを行動にできる高校生はなかなかいません。みなさんの行動が、またたくさんの人を復興支援のための行動に移せるようになると思います。今回のプロジェクトから学んだことを次に活かせるよう、“今”を全力で頑張ってください。（北海道教育大学岩見沢校 3年）

◆「被災地、被災者の方々に何かできることはないだろうか？」このような想いを抱えながらも、なかなか行動に移せずにモヤモヤしている人はたくさんいると思います。そんな中、皆さんは自分の思いを実現して、形にしています！みなさんの笑顔とパワーで被災地、被災者の方々も元気づけ、岩見沢で何かしたいと考えている人達にチャンスを与えてください！応援しています。（北海道教育大学 2年）

第1回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト 高校生アンケート（抜粋）

〈準備〉

○支援金、当日準備グループ

- ◆東北のためにみんなで協力できることがいいことだと思った。
- ◆支援金のお願いを通して、色々な人と関わることができました。
- ◆やりがいを感じた。 ◆みんなでがんばった。 ◆楽しくできたこと！
- ◆みんなひとつになって頑張ってた。

○東北の今グループ

- ◆実際に東北に行った人の話を生で聞けてよかった。 ◆色々な人に話が聞けたことです。
- ◆被災地について詳しく知ることができました。 ◆仕事がスムーズに進まなかったこと。
- ◆他校の人と一緒に活動することができた。東北の方々の協力ができたこと。
- ◆東北のことについて、知らなかったことを色々知ることができた。
- ◆みんなで集まることが多く準備が早く進んだと思う。また他校の人と関わりをもてた。
- ◆聞いた話をうまく文章にすることができなかった。
- ◆学校祭などがあり、準備等で集まるのが大変でした。
- ◆学校祭期間は会議にあまり参加できなかった。

○総務グループ

- ◆アポ取りの際、コミュニケーションをしっかりと取ることができた。
- ◆色々な商品を知ることができた。
- ◆商品の発注の際にコミュニケーションをとれたし、商品の決定もよかった。
- ◆発注の電話でうまくしゃべれなかった点。

〈当日〉

○販売コーナー

- ◆装飾、販売、最初から最後まで頑張った。 ◆他の学校の人とも協力して活動できたこと。
- ◆やっていくうちにどんどん楽しくなってきた。お客さんがきて、売れると嬉しかった。
- ◆色々な人と話せて、とても楽しかった。 ◆品の説明をできてなかった。
- ◆もう少し大きい声で声をかければよかった。 ◆お客さんに商品をすすめられなかったこと。

○展示、メッセージ コーナー

- ◆笑顔で対応することができた。 ◆多くの人に書いてもらえた。 ◆ことわる人もいた。
- ◆市民の方々と関わることができた。 ◆色々な世代の方に書いていただけ嬉しかった。
- ◆麦茶などを出せたし色々な人に書いてもらったこと。
- ◆もっと積極的に話しかければよかった。 ◆最初のほうは、あまり話しかけることができなかった。

○宣伝コーナー

- ◆いっぱいピウをくばれた。 ◆積極的に話しかけた。 ◆みんなもらってくれた。
- ◆プロジェクトを知らない人に少し宣伝できたのでよかった。
- ◆実際に商品を見せながらやりたかったです。

〈全体〉

1. 感想、または、復興支援について思ったこと

- ◆とても楽しくできた。 ◆東北のことがくわしく知れてよかったです。
- ◆私たちがやっているようなことを、他のところでもやってほしいと思った。私たちはもっと、東北支援について考えなきゃいけない。 ◆復興支援にかかわれてよかったです。
- ◆このような支援の形はとてもいいと思います。またぜひ協力したいと思います。
- ◆東北の人たちのことを思ってくれている方々がたくさんいて、温かい気持ちになれた。
- ◆たくさん人に買ってもらってよかった。 ◆当日買ってくれるひとが結構いてうれしかった。
- ◆今まで準備をしてきて、こういうふう支援することができてとても良かったです。
- ◆準備から販売まで大変な作業が多かったですが、このプロジェクトに参加できてよかったです。
- ◆このプロジェクトにたくさんの方が集まって協力してくれてうれしかったです。
- ◆色々な方々が来ていただいたのでとても嬉しく思った。 ◆復興支援は意外に大変だった。
- ◆たくさんの方が来てくれてうれしかった。来年もたくさんの方がきてほしいと思った。
- ◆東北の今をくわしく知ることができてよかった ◆復興支援に協力できてよかったと思う。
- ◆この活動を通して少しでも東北の役に立てばいいなと思った。 ◆楽しかったです。
- ◆よくよく考えるといいことしたなと思った。 ◆東北の人たちに少しでも、役立てて良かった。
- ◆東北のためにみんなでこうやって協力できたことがとてもうれしいです。これからも続けていきたい。 ◆東北のものがたくさん売れたことがよかったです。 ◆これからも続ける。
- ◆支援に協力できて嬉しいです。お客さんも温かい人ばかりで、話しててほっこりしました！！
- ◆自分たちだけで作り上げることができたことがよかった。 ◆よかった
- ◆復興とか困ってる人を助けるのはいいことだと思いました。 ◆またやりたいと思いました。
- ◆準備中から今日まで、清水さんや、先生方にたくさん迷惑かけているのに毎回毎回やさしく対応してくれてありがとうございました。このプロジェクトに関われて本当に良かったです。
- ◆東北の復興のために何かできてよかった。 ◆今後もできたらいいなと思った。
- ◆北海道と東北は離れているけど、できることをやって復興支援をしていくことが必要だと思った。
- ◆初めての活動だったけど、人がいっぱい集まってくれてとても良かった。
- ◆活動を通して、東北の現実について知ることができた。世代をとわず、色々な方々に書いていただけて嬉しかった。
- ◆自分が思っているより東北の方は大変なんだなとわかることができてよかった。
- ◆たくさんのお金が東北の方にわたるといいなって思う。
- ◆今回、東北の今でやってよかったなあと思うことがあったので、東北の今でよかったです。
- ◆自分が復興支援に直接たずさわれると思っていたいなかった、とても嬉しかった。
- ◆思ったよりたのしかった！これからも自分たちで支援に協力したい
- ◆このように、東北のものを売って、知ってもらうことはいいことだと思いました。

○決算報告書

費 目		決 算 額	摘 要
収 入	協賛金	607,000	活動支援金 1 □ 500 円×1,214 □
	売上金	298,365	商品売り上げ
	前売販売売上金	51,450	
	寄付金	350	
	利息	6	
収入計		957,171	
支 出	需用費	34,312	
	通信運搬費	9,630	
	印刷費	84,475	
	商品購入費	350,310	
	東北復興寄付金	349,815	商品売上及び前売販売売上金 ユネスコ協会子ども就学支援奨学金制度に寄付
	支出計	828,542	
収支差額		128,629	※第2回の開催に向けて繰り越しいたします。

売上金 349,815 円につきましては、
全額、ユネスコ協会子ども就学支援奨学金制度に寄付いたしました。

領 収 書

第1回復興支援東北の物産販売高校生プロジェクト 御中

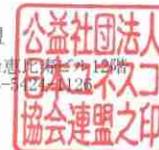
2012年10月11日

プロジェクト名	金額	受領日
子ども募金 東日本大震災子ども支援募金 ユネスコ協会就学支援奨学金	349,815円	2012/10/11

合計 349,815円

上記の金額を領収いたしました。

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
電話 03-5424-1121 FAX 03-5424-1126



募金にご協力いただき誠にありがとうございました

これからも暖かいご支援賜りますようお願い申し上げます

日本ユネスコ協会連盟への募金は寄付控除の対象になります

○日本ユネスコ協会連盟からいただいた御礼状



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟
National Federation of UNESCO Associations in JAPAN

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL:03-5424-1121(代) FAX:03-5424-1126
Asahi-Seimei Ebisu Bldg. 12F, 1-3-1 Ebisu,
Shibuya-ku, Tokyo 150-0013 Japan
TEL:81-3-5424-1121 FAX:81-3-5424-1126
<http://www.unesco.or.jp> E-mail: nfuaaj@unesco.or.jp

2012年10月24日

第1回 復興支援
東北の物産販売高校生プロジェクト御中

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
専務理事 内田 眞朗

ご寄附に対する御礼

拝啓

貴プロジェクトの皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、「ユネスコ協会就学支援奨学金」へのご寄附を賜りまして、誠にありがとうございます。東日本大震災で被災した子どもたちへの奨学金として大切に活用させていただきます。

つきましては、領収書をお送りいたしますので、宜しくご査収のほどお願い申し上げます。

なお、奨学生から本奨学金事業の支援者の皆さまへお便りが届いております。ぜひご覧いただければと存じます。

当協会連盟では、引き続き本奨学金事業をはじめ、被災地の復興支援に努めてまいります。今後ともご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

報告書の内容に関するお問い合わせ先

社会福祉法人
岩見沢市社会福祉協議会

〒068-0031
北海道岩見沢市11条西3丁目1番地9
岩見沢広域総合福祉センター内

TEL 0126-22-2960
FAX 0126-24-4977

(平成24年11月発行)